令和5年7月21日発行 第 11 号



身に付けさせたい力を明確にした学習指導案の作成を

各学校においては、前号で御連絡させていただいたとおり、夏季休業中における安全な過ごし方についての児童 生徒への指導に御協力いただき、ありがとうございました。

本号では、学校教育指導訪問において「評価規準」や「単元の指導計画」など、学習指導案に記載する内容につ いて質問をいただいたことから、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料~小学校算数科~」 に掲載されている資料をもとに紹介します。

単元の目標について

- 学習指導要領の目標や内容、児童の実態 や前単元までの学習状況を踏まえて、単 元目標を設定しましょう。
- ・教科等において育成を目指す資質・能力 に基づき、「知識及び技能」「思考力、判 断力、表現力等」「学びに向かう力、人間 性等」の3つの柱で目標を整理します。

単元について

・「明るい児童が多く…」など、一般的な **児童の様子を書くのではなく**、児童生徒 が当該単元以前の学習においてどのよう な力を身に付けてきたのかについて、観 点及び領域ごとに記載します。

評価規準について

- 目標が実現された具体的な児童生徒の姿 を<u>「知識・技能」、「思考・判断・表現」</u> 「主体的に学習に取り組む態度」の3観 点で整理します。
- ・ 学習指導要領の改訂に伴い、表現が変わ っているので留意しましょう。

単元の指導計画について

単元全体で、それぞれの授業のねらいを 明確にし、それぞれの授業をどのような 位置付けにすると効果的か、授業のつな がりを考え、**観点ごとの評価規準とそれ** を達成する学習活動のバランスを考える ことが大切です。

本時の指導計画について

• それぞれの活動場面において、児童生徒 がどのように思考し、**どのような発言が 予想されるかを具体的に明記**します。

本時の評価について

- <u>単元の指導計画に基づいて</u>、本時におけ る「評価の観点」、「評価場面」「評価方 法」を位置付けます。
- ・また、支援を要する児童生徒への具体的 **な手立て**を考え、明記しましょう。

- 1 単元名 分数のわり算 第6学年「A 数と計算」(1)「分数の乗法及び除法」
- 2 単元の目標
 - (1) 除数が分数の場合の除法について理解しているとともに、~ができる。(知・技)
 - (2)数の意味と表現、除法に関して成り立つ性質に着目し、~を考えることができる。(思・判・表)
 - (3) 学習したことをもとに、~に気付き、学習に活用しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

本単元は、~をねらいとしている。

児童はこれまでに、「A 数と計算」領域においては、第〇学年で~を学習し、数や計算の意味に 着目し、計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりする資質・能力を高めてきた。・・・

4 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------------------------|--------------------------|------------------------|
| ① 除数が分数である分数の除法の | ① 分数の除法について、数の意味 | ① 学習したことをもとに、分数の |
| 意味について、小数の除法の計 | と表現をもとにしたり、除法に | 除法の計算の仕方を考えたり、 |
| 算の考え方を基にして 理解して | 関して成り立つ性質を用いたり | 計算の仕方を振り返り多面的に |
| <u>いる。</u> | して、計算の仕方を多面的に捉 | 捉え検討したり しようとしてい |
| ② · · · · | え <u>考えている。</u> | <u> ති.</u> |
| | ②逆数を用いて除法を乗法として | 2 |
| | みたり・・・まとめたり <u>している。</u> | |

5 単元の指導計画 (9時間)

| | ねらい・主な学習活動 | 評価規準(評価方法) |
|---|---|------------------------------------|
| 1 | ○除数が分数である場合の除法の意味やその計算の仕方について考える。・問題場面を立式し、立式の理由を説明する。 | 知① 行動観察、ノート分析) 思① 行動観察、ノート分析) |
| 2 | ○除数が分数である場合の除法の計算の仕方について、多面的に考える。・除数が分数である場合の除法の計算の仕方について説明する。 | 思① (行動観察、ノート分析) 態① (行動観察、ノート分析) |

6 本時について

(1) 本時の目標

除数が分数である場合の除法の計算の仕方について、多面的に考えることができる。

(2) 本時の展開 (2/9時間)

| (=) (1 a.4 a. 90)(1 (=) () (4 a) | | | | | | |
|---|---|---|--|--|--|--|
| | 主な学習活動と児童の反応 | 留意点と評価 | | | | |
| 導入 | 1. 問題場面を把握し、式を立てる。 4分の3dLのペンキで板を5分の2m ² ぬることができました。このペンキ1dLでは、板を何m ² ぬることができますか。 1dLあたりだから、わり算で計算できるかな。 ・前の時間の考え方が使えそうだよ。 | ※前時の計算方法に ついて振り返るこ とで、本時の計算の 仕方について見通 しをもたせる。 | | | | |
| | 計算の仕方をいろいろな方法で考えよう。 自力解決をする一計算の仕方を考える一 | ・思①分数の除法について、数の意味と表現をもとにしたり、 除法に関して成り立 | | | | |
| 展開 | ・分数を小数に直そう。 $\frac{2}{5} \div \frac{3}{4} = 0.4 \div 0.75$ ・単位分数に戻そう。 $\frac{2}{5} \div \frac{3}{4} = \frac{2}{5} \div 3 \times 4$ | つ性質を用いたりして、 計算の仕方を多 面的に考えている。 | | | | |
| | $=40 \div 75 \qquad \qquad =\frac{2}{5 \times 3} \times 4$ $=\cdots \qquad \qquad =\cdots$ | (行動観察、ノート分析) ※考えを進められず悩んでいる児童には、 前時のノートを・・・ | | | | |
| !:::\xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx | | | | | | |

<義務教育指導班からのお知らせ>

学習指導案の作成に当たっては、各教科等の学習指導要領解説に記載されている指導事項等をもとに、「『指 導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を参考に作成しましょう。